

# 人口減少・地域活力創造対策特別委員会

会議記録（第1号）

令和7年12月23日

福島県議会

1 日時

令和7年12月23日（火曜）

午後 3時00分 開会

午後 3時10分 閉会

2 場所

第三特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 人口減少対策について
- (2) 持続可能な地域づくりについて
- (3) 上記(1)及び(2)に関連する事項

4 出席委員

委員長	満山喜一	副委員長	渡部英明
副委員長	石井信夫	委員	瓜生信一郎
委員	太田光秋	委員	宮下雅志
委員	今井久敏	委員	宮本しづえ
委員	山口信雄	委員	江花圭司
委員	渡辺康平	委員	猪俣明伸
委員	金澤拓哉		

5 事務局職員

政務調査課	主任主査	渡部幹雄
政務調査課	主査	鈴木寿実

6 説明のため出席した者

商工労働部

商工労働部長

小貫薰

商工労働部政策監

鈴木正人

## 7 議事の経過概要

(午後 3時00分 開会)

満山喜一委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから人口減少・地域活力創造対策特別委員会を開会する。

さきの本会議において、本特別委員会の委員長に選任された満山喜一である。

開会に当たり、一言挨拶する。

令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計人口によると、2025年の本県人口は、173万1500人程度の予想であったが、本年10月1日現在の人口は、171万7400人程度であり、予想を大きく下回っている。

将来推計人口によれば、14歳以下の子どもの数は、2020年の20万人から今後30年で半減する見通しとなっており、人口減少はさらに加速化する恐れもある。

人口減少の進行は自治体の税収を減少させ、公共交通や集落営農も継続困難となり、社会機能が大きく低下するなど、地域の活力低下が懸念されることからこれまで以上に対策を進める必要がある。

本委員会は、企業・団体、市町村などあらゆる主体との連携・共創を図り、社会経済施策を始めとする取組を強化して、人口減少社会における地域の維持・発展を推進する目的で設置されており本委員会に課せられた任務は、誠に重要である。

委員の皆様方には、何卒特段の御精励を賜るようお願い申し上げる。

また、私も与えられた職責に全力を挙げて取り組んでいくので、協力願う。

次に、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、金澤拓哉委員、猪俣明伸委員を指名する。

それでは、本日の会議運営について諮る。

本日は、初めに、各委員及び担当書記並びに執行部職員の紹介を行い、次に、委員席の決定を行った後、付議事件及び設置期間の確認を行い、理事会の設置について諮り、最後に、次回委員会の開催及び継続調査について諮るとの順序で進めたいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのように取り運ぶ。

なお、本日の会議には、あらかじめ商工労働部長及び関係職員の出席を求めているので了承願う。

この際、各委員に述べる。

先ほど本会議で選任された副委員長については、第一順位を渡部英明副委員長、第二順位を石井信夫副委員長とするので了承願う。

それでは、委員の紹介を行う。

渡部英明副委員長より委員会名簿に従い、順次自己紹介願う。

(各委員自己紹介)

満山喜一委員長

次に、本委員会の担当書記を紹介する。

政務調査課渡部幹雄主任主査、同じく鈴木寿実主査である。

続いて、執行部より職員を紹介願う。

(執行部職員紹介)

満山喜一委員長

次に、委員席の決定について諮る。

委員席をただいま着席しているとおり決定したいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

それでは、本日の議事に入る。

初めに、本委員会の付議事件及び設置期間について確認する。

まず、付議事件は、「1 人口減少対策について」、「2 持続可能な地域づくりについて」、「3 付議事件1及び2に関連する事項」である。

次に、設置期間であるが、本委員会の付議事件は県政上の重要課題であり、広範にわたる問題であるため、今後とも積極的かつ慎重に調査を行う必要があり、調査には相当の期間を要するものと思われる。したがって、本委員会の調査は令和9年6月定例会まで継続して行いたい。

以上のことについて、質疑はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

それでは、そのようにする。

次に、本委員会に理事会を設置することについて諮る。

本委員会の調査内容は広範にわたることから、委員会運営の基本方針等について協議を行うため理事会を設けたいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、本委員会に理事会を設置する。

なお、理事会の構成については、正副委員長と理事2名の計5名とすることで、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

次に、理事の人選については、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、宮本しづえ委員、猪俣明伸委員を指名する。

次に、次回委員会の開催について諮る。

次回委員会は、今後の調査計画及び本委員会で厳選して注力すべき調査内容の選定について協議したいと思うが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、開催日時については、正副委員長に一任願う。

次に、継続調査について諮る。

本委員会の調査は、先ほど確認したとおり、今後とも相当の期間を要するため、  
会議規則第75条の規定に基づき継続調査申出書を提出したいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのようにする。

なお、この場合、委員長の中間報告を求められるが、その案文については正副  
委員長に一任願いたいが、どうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

満山喜一委員長

異議ないと認め、そのように取り運ぶ。

以上で、本日の人口減少・地域活力創造対策特別委員会を閉会する。

(午後 3時10分 閉会)